

郡山国道事務所の取組について

—— 地域と共に、これからも



国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所長 遠藤 雅司

1. はじめに

郡山国道事務所では、国道4号と国道49号あわせて約191kmの維持管理や改築事業を担当しています。また、国道121号会津縦貫南道路のうち直轄権限代行事業として平成24年度より湯野上バイパス8.3kmの整備を進めています。

これら道路の管理や整備を通じて、安全で快適な交通の確保に取り組むとともに、地域間交流の促進、地域活性化、災害への対応を支援して参ります。

2. 道路の主要な事業

改築事業としてバイパス整備、4車線拡幅、防災対策を、交通安全事業として事故対策や交差点改良、付加車線整備を、電線共同溝事業として電線類の地中化などポイントを絞り14カ所で対策を講じています。

バイパス整備では、国道121号「湯野上バイパス」について、(仮)2号トンネル(延長2,579m)をはじめ、橋梁、改良工事を進めています。

4車線拡幅では、令和4年3月に国道4号「鏡石拡幅」が地域の皆様及

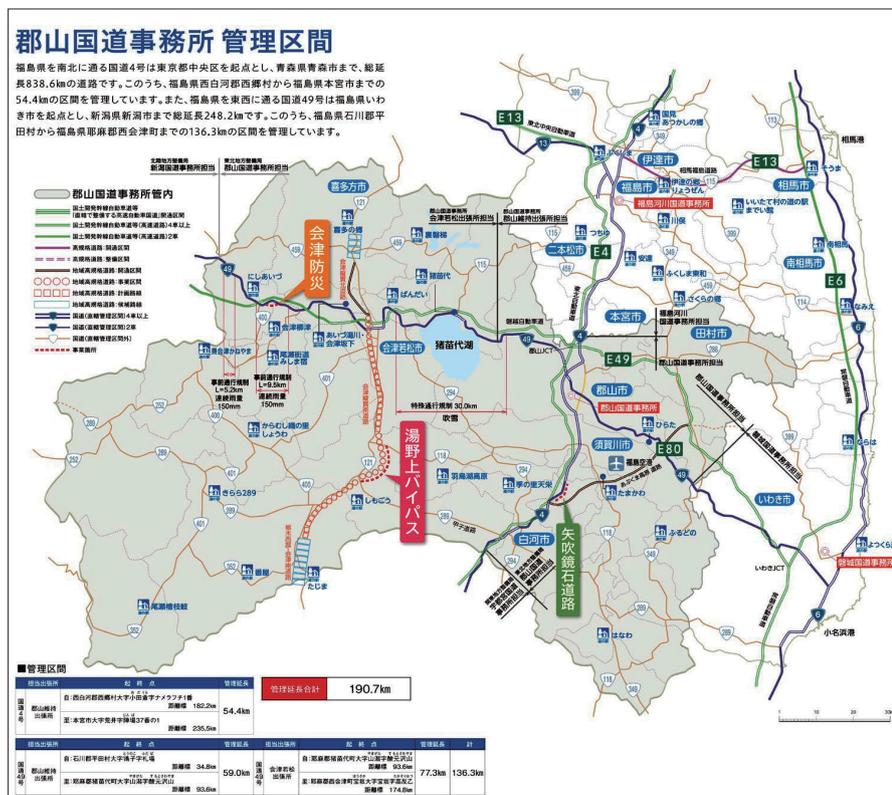
び関係機関のご協力により開通し、交通の円滑化、安全の確保、沿道利用の活性化などの整備効果が発揮されています。その南進として令和3年度より「矢吹鏡石道路」に着手しており、用地取得に向けた調査設計を進めています。

防災対策では、国道49号「会津防災」が平成26年度より事業中であり、改良、橋梁の工事を進めています。

交通安全事業では、国道4号「矢吹・泉崎事故対策」として、用地取得と改良工事を進めており、白河市の国道4号では、隣接する「薄葉交差点」と「女石交差点」において、交通事故の削減に向け連携した整備を図るべく調査設計を進めています。

また、柳津町から西会津町の国道49号では、急勾配による冬期間の交通事故の削減や交通の円滑化を図るため、付加車線の整備を進めています。

電線共同溝事業では、国道49号「会津若松市内」で3カ所の電線類の地中化工事を進めており、国道4号「須賀川市大黒町」と国道49号「郡山市富田町」では、令和4年度より歩行空間の安全性確保や交通円滑化を念頭に調査設計を進めているところ





3. 安心・安全の確保

近年の激甚化・頻発化する災害や急速に進む施設の老朽化に対応するため、インフラメンテナンスとして管内の橋梁、トンネル、法面など順次点検を行うとともに、優先度の高い順に計画的な補修に取り組んでいます。

また、大雨や大雪などの突発的な異常気象時には、早期の体制確保と対応が重要です。短時間の大雪等により交通の安全確保が困難と予想される場合には、道路利用者の安全を第一に、国道であっても躊躇無く通行止めの措置をとり、集中除雪による事前処置を行います。

4. おわりに

近年、気候変動に伴う豪雨、豪雪などによる災害の激甚化や頻発化、大規模地震への対応など、解決すべき課題は山積しています。これらを克服し、国民の生命と財産を守り、地域経済の活性化、国際競争力の向上のためには社会インフラ、とりわけ道路の果たす役割は大きいものがあります。

福島県内を縦横断し地域を結ぶ国道4号と国道49号及び国道121号が、

工事状況



地域生活や経済活動を支える幹線道路の役割をしっかりと果たし、地域の皆様の期待に応えられるよう、関係機関

と連携を図りながら平時有事を問わず職員一丸となって、道路の維持管理、整備に努めて参ります。